

おはなし会のおしらせ



図書スタッフのおはなし会
2/12 2/26



ボランティア『ウーフ』のおはなし会
2/1 2/15



場所：2F 世界の絵本コーナー
入場無料 入退場自由
直接会場へお越しください。



企画コーナーのおしらせ



スタッフ
おすすめ **の児童書**



美術館・図書館の特色のひとつである児童書の中から、スタッフおすすめの本をイラストや文章のPOPとともにご紹介します。今まで“知らなかった本”を知るきっかけになるかも…？

<萌えすぎて>
絶対忘れない!妄想古文
(河出書房新社)
J910 ミ

1/31(土)-2/23(月・祝)

午年-うまどし-2026



休館日・館内整理日

2026		2		FEB		
日	月	火	水	木	金	土
①	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	⑫	13	14
⑯	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	⑭	27	28

休館日

館内整理日

○ 図書イベント日

☆館内整理日は図書エリアが休館となります。

1F ブラウジングコーナーはご利用いただけます。

開館時間

10:00～18:00

(1F カフェ、ブラウジングコーナーは20:00まで)

※状況により、開館時間が変更になる場合があります。

ブックポストのご案内

西入口・駐輪場となりにブックポストがあります。

閉館中はそちらへ返却できます。

大型本は開館日に図書カウンターまでお持ちください。

美術館・図書館 Web サイトでも
図書館だよりが読めます！

アクセスは
こちら



太田市
美術館・図書館
ART MUSEUM & LIBRARY,
OTA

太田市美術館・図書館

Tel : 0276-55-3036

<https://www.artmuseumlibraryota.jp/>



図書館だより 2026年2月号

NEWS

本でつながるイベント vol.10
朗読会 ~こちそよそよと~

3/8(日) 14:00～15:00 参加無料
3F 視聴覚ホール
要申込

劇団民藝俳優 2名による朗読会を
開催します。

定員:50名(1組4名まで) 対象:小学校高学年以上
申込: 2/6(金)10:00より電話、HPで受付

取扱雑誌入れ替えのおしらせ

★新しく入る雑誌

CRUISE TRAVELLER/NHK 趣味の園芸/SAUNA
BROS./analog/サンキュ！/STYLE WAGON/
Motor cyclist/小さな薔薇/私のカントリー/BOXING
BEAT/Blue./3分クッキング/クロワッサン

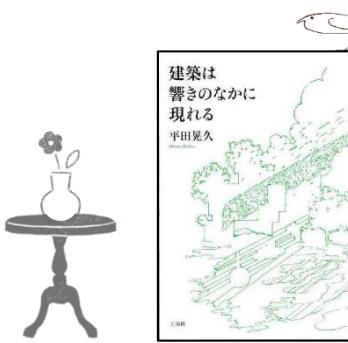
★取扱終了の雑誌

栄養と料理/ELLE gourmet/Mac Fan
スバルマガジン(図書へ移動)



美術館・図書館

学芸員のおすすめ



建築は響きのなかに現れる

平田晃久／著

(王国社)

A502 B

「作品やその背後にある考え方に関して、僕の中では太田以前／太田以後の間には、ある断層が存在する」と言っているのは、当館の建築を見てかけた、いまや世界的な建築家・平田晃久さんです。ここで言う「太田」とは、もちろん太田市美術館・図書館。当館での設計経験が、以後の平田さんの創作において決定的な影響を与えているという事実に、私はとても誇らしい気持ちになりました。太田市民必読の書です。

また、本書は、2017年から2025年にかけて平田さんが執筆した原稿で構成されています。

当館の正式開館もまた2017年。当館の活動の軌跡ともいえる収蔵品の数々を展示する美術展

「コレクションをめぐる3つの時間」は3月7日から5月10日まで。観覧料は無料です。ぜひお立ち寄りください。(山田)



※実践する際は自己責任となります。当館は一切の責任を負いません。

第一



「藝術」としての写真へ
— 1920年代後半から1930年代の初頭にかけて、日本の写真界では写真にしかできない表現を求めて、「新興写真」は絵画表現を模倣したそれまでの「藝術写真」とは決別するものであり、カメラの持つ特性、つまり「機械性」に根差した表現を模索するものでした。「新興写真」では、カメラのレンズや感光紙を用いて「新しい視点に立ち新しい美を探えること」、「世界の断面を記録し報告すること」、「光による造形を行うこと」などが目指されました。

しかし何よりも重要なのはそれらの取り組みが「社会的存在としての人間によりなされるべきである」ということにありました。社会に参画する芸術という考えは革命前後のロシアの諸芸術（ロシア・アヴァンギャルド）に由来するものと考えられます。満州事変を経て太平洋戦争にいたる過程でそうした理想主義的な考えは「報道写真」に姿を変えます。つまり社会参画を通して残念なことを国策化・プロパガンダ化して終焉を迎えるのです。



参考文献

光画傑作集（国書刊行会）

野島康三 中山岩太

木村伊兵衛／ほか著

748 - 7 禁書

「藝術」としての写真から
「眞」としての写真へ